

チーム医療：緩和ケアチーム

－関係部署－

部 署	スタッフ名
緩和ケアチームリーダー 外科	西谷 暁子
心療内科	松岡 弘道
内 科	清水 勇雄
がん疼痛緩和認定看護師	杉野 幸恵
看護局	高島 麻由美 射手矢 奈津子
栄養科	住井 諭美 宇野 妙子
薬剤科	中川 直樹 射手矢 弥生 安井 結香里 西村 亜希子 若林 里絵
リハビリテーション科	藤野 文崇 石田 恭子

－概要－

2007年、厚生労働省の定める『がん対策推進基本計画』にて、すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得することが目標に掲げられた。2008年、医師に対する緩和ケアの基本的な知識等を習得するための研修会に関する健康局長通知『がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針』が出された。

さらに、2012年6月、がん対策推進基本計画では、『関係機関などと協力し、3年以内にこれまでの緩和ケアの研修体制を見直し、5年以内に、がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得することを目標とする。特に拠点病院では、自施設のがん診療に携わる全ての医師が緩和ケア研修を修了することを目標とする。』とされた。

これに沿って、当院でも緩和ケアチームを立ち上げ、主に院内での活動を行っている。

緩和ケアチームでは、チームリーダー 外科 西谷を中心に、心療内科および内科医師、がん疼痛緩和認定看護師、および栄養科、薬剤科、リハビリテーション科各部署のスタッフが協力して、院内の緩和ケア推進に努めている。

具体的な活動として、毎週1回、院内緩和ケアチーム回診を行っている。各診療科からの介入依頼を受けて、チームでの多角的なカンファレンスを行う。さらに、各病棟スタッフとも連携し、患者回診を行う。患者状態を評価し、疼痛コントロールや精神面でのサポートについて提案する。

また、緩和ケアに関する啓発・普及にも積極的に取り組

んでいる。年1回、厚生労働省の定める、緩和ケア研修会を開催している。2013年度は、院内外より多職種27名が参加し、2日間の日程で行われた。

さらに、当院独自の取り組みとして、院内外の緩和ケアに携わる多職種を対象にした緩和ケア講演会を年2回開催している。

今後は、さらに院内での緩和ケアを推進し、スタッフの意識向上を図るよう努めたい。また、地域連携を踏まえて、地域の多職種の方々とも関係を構築していきたい。

－実績－

- ・院内緩和ケアチーム回診 1回/週
- ・2013年6月5日 第7回りんくう緩和ケア講演会 開催
『いたみについて』
講師：市立貝塚病院診療局参与兼麻酔科学部長
仲谷 憲 先生
- ・2013年6月29・30日 第5回りんくう緩和ケア研修会 開催
企画責任者：市立貝塚病院診療局参与兼麻酔科学部長
仲谷 憲 先生
- ・2014年1月15日 第8回 りんくう緩和ケア講演会 開催
『私たちが大切にしていること』
—緩和ケア病棟の毎日から—
講師：岸和田市民病院緩和ケア内科部長
川島正裕 先生

